

2月17日（月）

あなたのエンジンをスタートさせない

聖書朗読 エペソ 2：1～10

私は、主の恵みと、主の奇しいみわざをほめ歌おう。

イザヤ 63：7

米国コミュニティ調査局のデータによると、アメリカの通勤者は毎日、職場まで通勤するのに、片道平均24.3分を費やしているとのこと。つまり1年間で100時間以上になるというわけです。

車のハンドルを握るとき、私はいつもイエス・キリストの弟子です。ですから、私が自分の生活のすべての側面で主のご支配を映し出したいと願うなら、運転の仕方についても考えたいと思います。約6年前、私の新年の決意の1つは、仕返しのために車のクラクションを鳴らすのを止めるというものでした。この件に関して、最近はかなりうまくやっていると報告できるのは嬉しいことです。

まわりのドライバーに対して寛容で礼儀正しくするための精神的なアドバイスについて書かれたものを最近読みました。それは、自分が優勢になったり支配したりするために運転するのではなく、弱者を守るために運転するということです。クリスチャンの運転の仕方は、カリフォルニアの運転試験に基づいてはいません。

クリスチャン人生のゴールがよりキリストに倣うようになることにあるなら、「その終わりに向かう仕事を体系的、漸進的に再配置する」（ダラス・ウィラード）必要があります。そして、このことは、車を運転するときの予期せぬ出来事においてどのように考え、行動するかということです。あなたのエンジンをスタートさせましょう。恵みとまわりの人たちに対する思いやりをもって。

讃美歌 452

祈り お父様。自分勝手な運転を後悔します。職場や学校に車で向かうとき、私の心と思いをあなたがご支配してくださいように願います。自分の生活のすべての側面が、あなたを映し出すものとなりますように。

イエス様の御名において。アーメン。

アンディ・ウォール

カリフォルニア州 オークパーク

今日の力

2014年2月17日～2月23日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月18日(火)

お父様のよう

聖書朗読 エペソ 5:1~10

愛する者よ。悪を見ならわないで、善を見ならいなさい。善を行なう者は神から出た者であり、悪を行なう者は神を見たことのない者です。
Ⅲヨハネ 1:11

子どものころ、私には1つの願いがありました。それは父のようになることでした。毎日、私の目は父のすべての動きを追っていました。父は、右分けになるように髪の毛をとかししました。それで、私も同じように自分の髪の毛を右分けにしました。父は片手をポケットに入れ、もう片方の手を振って歩きます。ですから、私も同じ歩き方をしました。父に対する私の愛と賞賛は、父のようになりたいという私の願望に火をつけました。

今日の聖句は、御在天のお父様が愛してくださる子どもとして、私たちがお父様に倣うように示しています。さらに、お父様に倣うためにはどのようにしたらいいかまで細かく示しています。その指示は充分、明らかに思えます。それほど明らかでないのは、なぜこのようにして神様に倣わなければならないかです。

神様に従うことに対するすべての動機が、私の心の中で渦をまいています。神様に落胆していただきたくはありませんし、私たちには神様に従う義務があると感じ、そして神様の怒りを怖れます。それ以外の動機づけがありますか？ 神様は私たちが神様を愛することをとても望んでいらっしゃるのです、私たちが倣いたいと思うお方は神様以外には存在しません。神様はご自身の子どもたちが賞賛と崇拜をもって神様のあとを追うことを望んでいらっしゃいます。ですから、私たちは神様のあらゆるお働きをお手本とし、それを倣わざるを得ないのです。

聖歌 290

祈り 親愛なる神様。あなたには汚れがまったくなく、義と真があるだけです。私たちがもっとあなたに似るように、あなたを愛し尊敬する私たちの能力を増してください。

イエス・キリストの御名においてお祈りします。

パトリック・メッサー

ノースカロライナ州 ダラム

2月19日(水)

郵便受け

聖書朗読 ピリピ 4:4~9

神のことばは、すべて純粋。神は抛り頼む者の盾。

箴言 30:5

62歳を過ぎた私の愛する夫が、先日、主とともに生きるためにこの世を旅立ちました。彼の死後、隣人がたっぷりの食事を用意して、わが家に持ってきてくれました。食事を持ってきてくれた隣人の男性が言いました。「これはヘレンからだよ」。ちょっと戸惑いながら私は「ヘレンって、誰？」と聞きました。すると彼は、「彼女は郵便受けの友達だよ」と言いました。

わが家では、何人かの隣人と郵便受け置き場を共有しています。夫のエドは、私たちの長年の郵便配達人のポーラを待つのを楽しみにしていました。ポーラのトラックが見えると、たいてい夫は、私たちの日々を輝かしてくれる家族や友人からの便りを心待ちにしながら郵便受けに飛んで行きました。

私は、ヘレンが夫と同じことをしていることを知りませんでした。彼女は郵便受け置き場のある通りの向い側、私たちの家から数軒下った所に住んでいます。彼女もまた、手紙をすぐに受け取れるように、ポーラを待っていたのでした。ですから、ヘレンは郵便受けがきっかけで夫のことを知ったのでした。

私たちは、愛という貴い言葉を見つけるために郵便受けに行く必要はありません。ほとんどの人が聖書を身近に持っており、私たちがすべきすべてのことは、神様の愛のみことばの中に読むことができます。みことばは思いやりを強めます。それは、まさにその日、ヘレンが私に示してくれたことです。

讃美歌 443

祈り 親愛なる主よ。毎日、思いやりを示したいと思います。愛と思いやりの練習をする機会に気づくように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

シュー・レザム

カリフォルニア州 アントロープ

2月20日(木)

税金と同じくらい確かなこと

聖書朗読 II テモテ 4:1~8

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、
ヘブル 9:27

私たちは、ある場所から別の場所に移動する乗り物として車を利用します。ですから、自動車メーカー（製造者）が車に信頼できるメーターを設置して、そのメーターが車が故障しそうなときを知らせてくれることは嬉しいことです。通常、ラジエーターランプ、エンジンライト、ガソリン減少などを示すライトがついて、私たちにサインを送ってくれます。こういったサインは、あなたが不意に故障に遭わないように、そしてあなたが望まない場所で立ち往生しないためのものです。

私たちの「製造者」造り主は、私たちの肉体にそれ以上のことをしてくださっています。たとえば黒い髪の毛より白髪が多くなったり、遠近両用メガネやひざやその他の関節へのいたわりが必要になったり、歩くのがゆっくりになったりなどです。こういったことはみんな、時が終わりに近づいていることを私たちに語ってくれるメーターです。私たちの肉体はみんな磨り減っていくのです。

しかし、魂はより強くなり、永遠に続きます。車や肉体にしたのと同じように、霊的な体のケアにも気を配って欲しいと思います。霊的な体はあなたをこの地上から栄光へと運んでくれるからです。そして、霊的な体は磨り減ったりなんかしません。

死は税金と同じくらい確かなことです。準備はできていますか？ 栄光に満ちた新しいからだ awaits。お父様に近づくことは、私たちの理解を超えた喜びをもたらしてくれます。

讃美歌 第二編 106

祈り 御在天のお父様。今日、信仰をかたく保ち、御恵みによってこの競争を走り終えることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

アルマ・・ジョーンズ
テネシー州 マッケンジー

2月21日(金)

励ましの言葉がもつ力

聖書朗読 ヘブル 3:7~19

「きょう」と言われている間に、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされてかたくなにならないようにしなさい。
ヘブル 3:13

献身的な出版物である「今日の力」に書かれている言葉が、世界中の何千という人たちに届けられています。多くの国の人たちが、愛と励ましのメッセージを届けたり、受け取ったりしています。私はメッセージを書き始める前に、読む人を真に高めるみことばと聖書をもって、主が私を祝福してくださるようにお祈りします。お祈りしているときやメッセージを書いているとき、思わず涙があふれることもあります。

すべての人が重荷を負い、ストレスの多い状況を経験しています。みことばがもたらす励ましの言葉は慰めとなり、人から受ける励ましの言葉、カード、抱擁は困難なときに私たちの助けとなります。

去年の2月23日、私の夫の葬儀の去り際に、素晴らしい友人が私をそっと抱きしめながらこういいました。「3月7日よ」。突然そう言われて、私は「何のこと？」といった表情をしたに違いありません。彼女は『今日の力』！と付け加えました。彼女は「今日の力」に私が書いた原稿のことを言ったのです。その原稿は、3月7日の掲載予定になっていました。彼女は前もって私の原稿を読んでくれていたので、そのことを言ってくれたのです。彼女の優しい言葉が、私の心の中でこだましました。

私たちを通してみことばは、かたくなではない、受容する心にインパクトを与えます。今日、励ましの言葉を言い、書きましょう。その言葉がどこまで遠くまでこだまするか、あなたにはわかりますよね。

讃美歌 第二編 26

祈り 親愛なる主よ。あなたの子どもたちを励まし、高める言葉と行ないで、私を奮い立たせてください。

イエス様の御名において。アーメン。

シュー・ラザン
カリフォルニア州 アンテロープ

2月22日（土）

キリストのからだ

聖書朗読 Iコリント 12：27～31

あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです。

Iコリント 12：27

最近、チェコを旅した時のことです。プラハでの最後の聖日に、神様を信じる貴い小さなグループに出会いました。チェコ語で讃美歌を歌おうとしたのですが、私たちはちょっと口ごもったり、舌がもつれたりしました。でも、聞きなれた讃美歌のメロディーが私たちの心に火をつけてくれたので、主の讃美に加わることにベストを尽くせました。

私たちは円を作って座り、よちよち歩きの幼児から年配者まで、みんなでみことばからのメッセージを聞きました。最初にドイツ語で語られ、チェコ語に翻訳され、最後に英語で語られました。主の食卓において、ともにパンをさいたとき、文化や年齢、言語の違いを橋渡しする讃美歌の超越性に驚かされました。

この人生が私たちをどこに連れて行こうとも、キリストのからだにおいて、私たちは一つなのです。

私たちは聖霊において一つ、主にあって一つです。

そして、私たちが一体であることが、いつの日にか回復し、

私たちが愛によるキリスト者であることを、彼らが知るようにお祈りします。

讃美歌 537

祈り お父様。貴いキリストのからだにおいて、私たちをあなたの子どもにしてくださいましたことを讃美します。イエス様、あなたの御名において2人以上の者が集まる場所に、あなたもいてくださいますことを感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョーン・ロング

テキサス州 ラボック

2月23日（日）

一息かなた

聖書朗読 ヤコブ 4：13～17

だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。

マタイ 6：34

「永遠は一息かなた」という古いことわざがあります。老若、民族の違い、社会経済的な階級、健康か病気か、出身国といったことは関係ありません。

さてそうになると、私たちはどうしますか？ たった1日で、私たちは何ができますか？『あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。』とイエス様はおっしゃいました。ヤコブはこのテーマをさらに強調して、『聞きなさい。(略) あなたがたには、あすのことはわからないのです。』と語っています。このように、神様は、私たちが将来的な完成に向けてどうするかを考えて時間を過ごすのではなく、今日という日に集中することを望んでいらっしゃるのことがわかります。あなたの「今日」がスタートしたら、このことを考えるようにしましょう。つまりそれは、聖くあり、聖く行動する。人を許す。その機会が起きたら、適切な「実」あるいは「質」を適用する。あらゆる場面でキリストの愛をすべての人に示すことです。そして、明日が「今日」になったなら、それらを始からもう1度繰り返しましょう。そのような1日が、安らぎのある夜を生み出すのです。そして結局は、それがクリスチャンであることの最も肝心なこと、本質なのです。つまり、今日、クリスチャンであるということです。そして、神様は、ご自身が私たちとともにいてくださると言ってくださっています。

讃美歌 第二編 82

祈り 御在天のお父様。私が明日のことや永遠のことを怖れないように助けてください。私をあなたの霊で満たしてください。そして、今日、私がクリスチャンであることに満ちたりることを経験するように、あなたが私に与えてくださいました機会や試練に遭ったとき、私を導いてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ビル・マックカーハン

オレゴン州 ピロマス